

# 成熟児核黄疸の運動障害



横地健治

1



2

1



- ・股屈曲あるが、伸展への変換は速く、完全に伸展する
- ・手の前出し困難があるが強くない
- ・to and froは多い

これらは中脳無動性アテトーゼに似る

- ・股屈曲過活動
- ・股伸展荷重制限
- ・**共収縮制御障害**
- ・**中脳性運動発動障害**

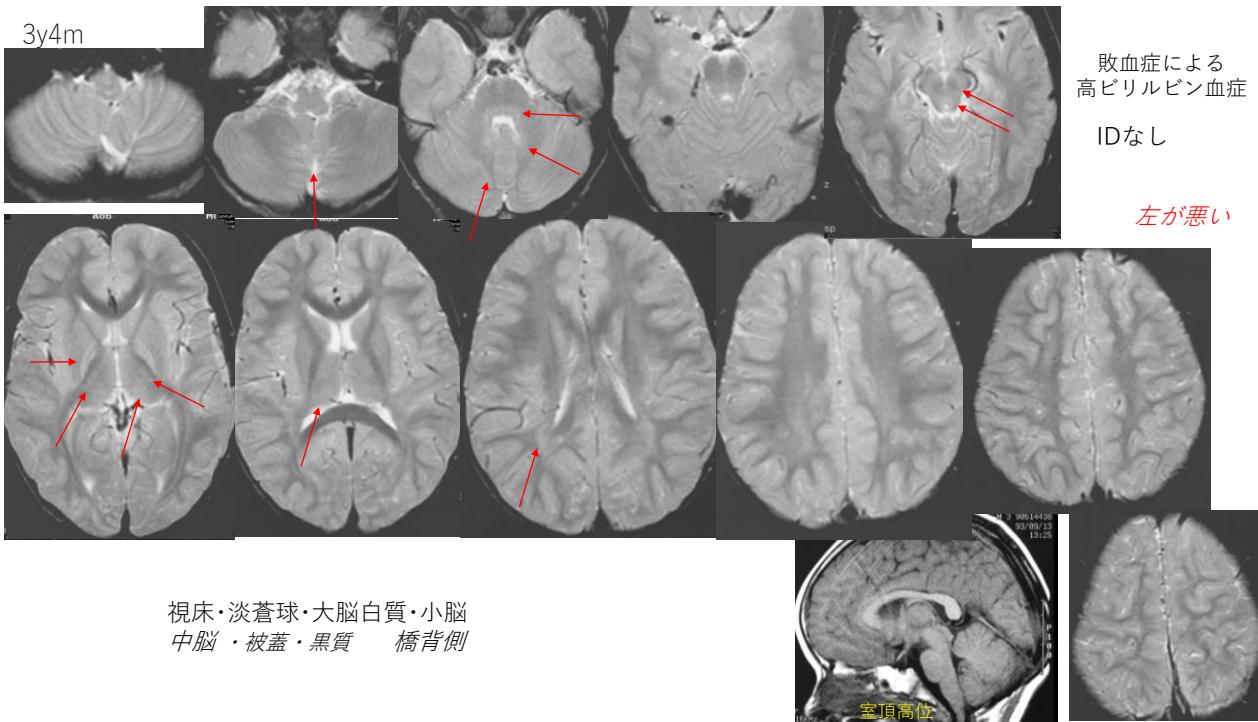
3



- ・股屈曲過活動
- ・股伸展荷重制限
- ・**共収縮制御障害**
- ・**中脳性運動発現障害**

4

2



5



6



7



8

4



- ・股屈曲強い
- ・右立脚股伸展が悪い→尻餅

対抗困難な強い股屈曲過活動  
→共収縮制御障害



9



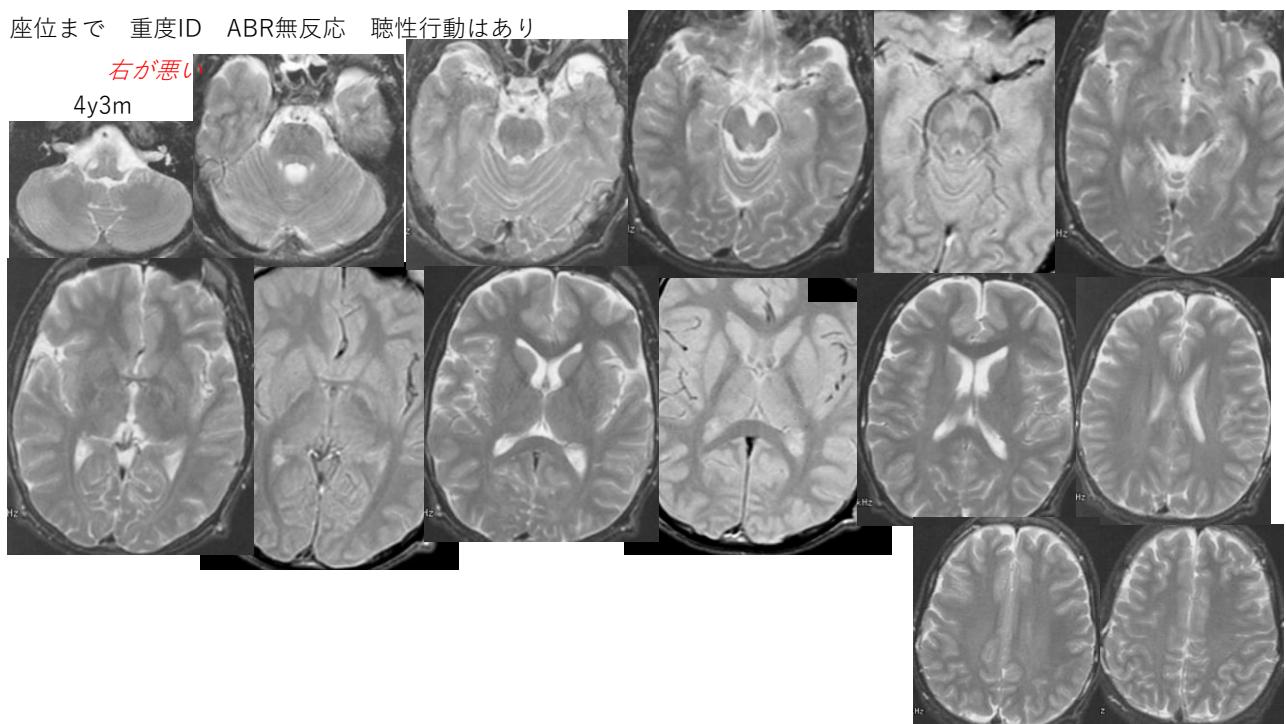
- ・構音障害は重度・口頸運動は過度で固定する
  - ・強い股屈曲・肩水平内転は緩む
- 関節可動域の極位をとりやすいのは中脳性運動発現障害

10

座位まで 重度ID ABR無反応 聴性行動はあり

右が悪い

4y3m



11



12



13



・股屈曲過活動 ・股伸展荷重制限 ・共収縮制御障害 ・中脳性運動発現障害

14



15



- ・静止しない *athetosis*
- ・上肢は空中保持するが使えない *Catalepsy-like*
- ・非対称な過開口
- ・足を手のように使う
- ・前足部荷重に伴う引っ込み *avoiding reaction*  
*Athetoid “dance on hot bricks”*

・股屈曲過活動・股伸展荷重制限・共収縮制御障害・中脳性運動発現障害

16



- ・股屈曲過活動
- ・股伸展荷重制限
- ・共収縮制御障害
- ・中脳性運動発現障害



17

### 日本神経学会教育ビデオ



脳性麻痺・アテトーゼの中核は核黄疸であろう

18